

ハクサイ (アブラナ科)

無双、金将2号、大福65・70・85

1 作業体系

月		8	9	10	11	12	1	
作業体系	(直まき)	播種 ○○	間引き △	追肥・土寄せ -----	収穫 □□□□	防寒	貯蔵	
	(育苗)	播種 ○	定植 ◎	-----	□□□□			

2 ここがポイント!

- ・収穫まで60日の早生種から90日以上晩生種まであり、生育期間を確かめます。
- ・生育適温は18~21℃、結球適温は15~18℃であり、結球までにできるだけ生育を促進させるのが大株を作るポイントです。
- ・恵那地域では8月15~25日が播種適期で、播種が遅れないように作業をします。

① 畑の準備

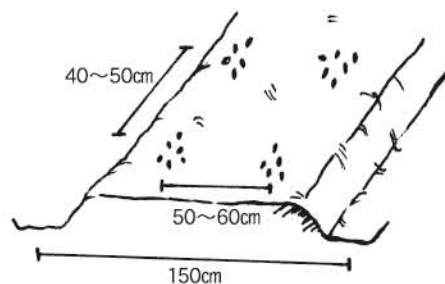
保水力があり、排水良好な畑が適し、転作田では30cm以上の高畝にします。

② 種まき

畝幅150cm、条間50~60cm、株間40~50cmで2条植えとします。

※気温が高い時は不揃いになりやすいので、ポットやセルトレイで育苗して定植する方が、ほ場の利用や初期の管理もしやすく、安定して作れます。

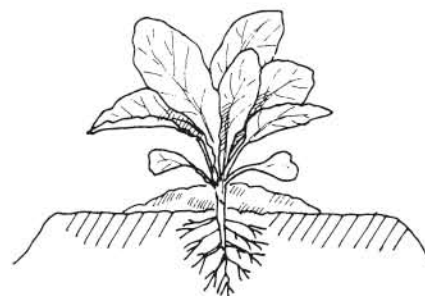
ポットの場合、本葉4~5枚まで、セルトレイの場合、3~4枚まで育苗します。



③ 間引き・追肥・中耕・土寄せ

本葉2~3枚時に2株、4~5枚時に1株に間引きします。

追肥後、中耕・土寄せします。定植2週間後に1回目、結球開始前に2回目を行います。



④ 防寒対策

霜の被害を受けないように、ほとんど結球が終わった頃、行います。



3 施肥設計

10㎡あたりkg

肥料名（窒素－リン酸－加里）	基 肥	追 肥		備 考
		1回	2回	
土力のおかげ堆肥	20～30			<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥は全面に施します。 ・堆肥と同時に施します。
苦土石灰	1.0～1.5			
BM苦土重焼燐（0－35－0）	0.2			
発酵鶏糞（2.4－7.5－4.4）	6.0～7.0			
園芸化成特1号（14－8－13）		0.3	0.2	

4 収穫

手のひらで押さえて、固くしまった感じであれば収穫します。



5 病害虫防除

ネコブ病等予防のためアブラナ科野菜の連作を避け、排水の良いほ場を選定します。

窒素の多肥は発病を助長します。

初期のシンクイムシ、中期のアブラムシ、結球期のヨトウムシ類に注意します。

結球期に21～22℃を越えると軟腐病の発生が多くなるので、注意します。

6 豆知識

くせのない淡泊な味のため、漬物、和洋中華の食材として広く用いられます。ビタミンCが比較的多く、ミネラル、食物繊維も多いです。

	（ゆで）	（塩漬）
ビタミンA（カロテン）	130 μg	14 μg
ビタミンC	10 mg	24 mg
カリウム	160 mg	20 mg

五訂 日本食品標準分析表より（100gあたり）